

インバウンド旅行者の 主要周遊ルート調査2025 ～市場別のゴールデンルートを探る～

じゃらんリサーチセンター×ブログウォッチャー共同研究より



2025年4月15日発行

株式会社リクルート じゃらんリサーチセンター
研究員 松本 百加里

▼本件に関するお問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

目次

- インバウンド旅行者の主要周遊ルート調査2025のトピックス (P3)
- 調査背景と目的・調査概要 (P4)
- 市場別の全国主要周遊ルート概要マップ・分散状況 (P5)
- 台湾全国主要周遊ルート20・順位変動ランキング5 (P6)
- 台湾全国主要周遊ルート詳細マップ (P7)
- タイ全国主要周遊ルート20・順位変動ランキング5 (P8)
- タイ全国主要周遊ルート詳細マップ (P9)
- オーストラリア全国主要周遊ルート20・順位変動ランキング5 (P10)
- オーストラリア全国主要周遊ルート詳細マップ (P11)
- アメリカ全国主要周遊ルート20・順位変動ランキング5 (P12)
- アメリカ全国主要周遊ルート詳細マップ (P13)

インバウンド旅行者の主要周遊ルート調査2025のトピックス

- **ゴールデンルートは、インバウンド旅行者の市場によって異なるルートが存在
地方分散は横ばいだが、一部地域に新たな兆し：長野・静岡・茨城が初ランクイン**
 - 市場によって主要周遊ルート（ゴールデンルート）が異なった。（P.5）
 - 地方を含む周遊ルート数は、台湾13本、タイ11本、オーストラリア10本、アメリカ米国6本で、全体としては前年とほぼ同水準で、地方分散の進展は限定的だった。（P.5）
 - 昨年はランク外だった長野県、静岡県、茨城県が上位20ルートに登場。タイ市場では長野県、静岡県（P.8）オーストラリア市場では長野県（P.10）アメリカ市場では茨城県（P.12）が新たにランクインした。

【参考】

- 長野県（タイ）：松本城や上高地の興味が高まり、東京・大阪からの延伸として「中央道ルート」や「新宿発のバス路線」でアクセスするケースも増加。
- 静岡県（タイ）：富士宮市側の滝や富士山本宮浅間大社への来訪が増加。
- 長野県（オーストラリア）：スキー旅行需要が根強く、特に野沢温泉や白馬エリアへの訪問が拡大。温泉巡りも人気。
- 茨城県（アメリカ）：つくばエクスプレス沿線にある研究機関や大学のアメリカ人が増えたことに伴い、その友人や家族が東京観光とセットで茨城を訪れる「友人・親族訪問（VFR）」が増加傾向。

解説



株式会社リクルート
じゃらんリサーチセンター 研究員
松本 百加里（まつもと ゆかり）

2024年の4市場における地方分散の進展は限定的でしたが、一部地域では新たな動きが見られました。例えば長野県では、東京から北陸を経て関西へ抜ける広域ルートの兆しがあり、フリーパスや乗車券と組み合わせた情報提供が、地方訪問を促す有効な手段となりそうです。また、オーストラリアのスキー需要や、タイ市場での山岳観光・温泉・神社といったテーマ型観光、さらにアメリカ市場に見られるVFR（友人・親族訪問）需要なども、地方誘客を進める上での重要なヒントになります。今後は、市場ごとの関心と地域の観光資源を的確に結び付けた、ターゲットを明確にしたルート設計とプロモーションがより一層求められると考えられます。地方が単なる「通過点」にならないためには、滞在型観光への転換や、地域を「目的地」として再定義する発想が大切になるでしょう。

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

本資料は、株式会社リクルート『じゃらんリサーチセンター』の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまの判断で利用してください。本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当社までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます。あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

メディア・報道機関の皆さま：株式会社リクルート 広報担当 <https://www.recruit.co.jp/support/form/>
企業・自治体・一般の皆さま：『じゃらんリサーチセンター』事務局 E mail jalan_rc@r.recruit.co.jp

本調査の背景・目的

本調査は、2024年における訪日旅行者の主要周遊ルートを明らかにし、地方誘客を促進するためのエリア・ルート戦略の策定の支援になることを目的とする。観光庁がまとめた宿泊旅行統計調査によると、2023年度のデータでは、訪日旅行者の延べ宿泊者数の71.5%が三大都市圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県）に集中していたが、2024年は69.4%とわずかに減少した。しかし、依然として都市部への宿泊集中が続いており、地方分散のさらなる推進が求められている。地方部における一人当たりの宿泊数は1.36泊となり、前年から0.02泊増加したが、その伸びは限定的である。政府の「観光立国推進基本計画」では、2025年までに外国人の地方泊を一人当たり2泊とする目標を掲げているが、現在の水準では達成には遠い状況である。三大都市圏の一人当たり宿泊数（3.08泊）との差も依然として大きく、地方における宿泊機会の拡大が急務となっている。そこで本調査では、2024年の市場別（国・地域別）主要周遊ルートトップ20を分析し、地方部でランクアップしている都道府県を特定することで、訪日旅行者の地方誘客を促進するためのエリア・ルート戦略の立案に活用できるデータを提供する。本調査結果を活用することで、各地域の周遊ルート特性に応じた効果的なプロモーション施策を展開し、訪日旅行者の地方分散を促進するための一助となることを期待する。

調査方法

◎周遊ルート・訪問率：ブログウォッチャー調査「デジタル観光統計（訪日版）」

※インバウンドのデータ取得に関して：スマートフォンアプリ利用者から個別に許諾を得て取得したGPS位置情報データを、個人を特定できない形式に加工して集計しております。

◎空海港の出入国者数：出入国管理統計統計表（出入国在留管理庁調べ）

実施期間

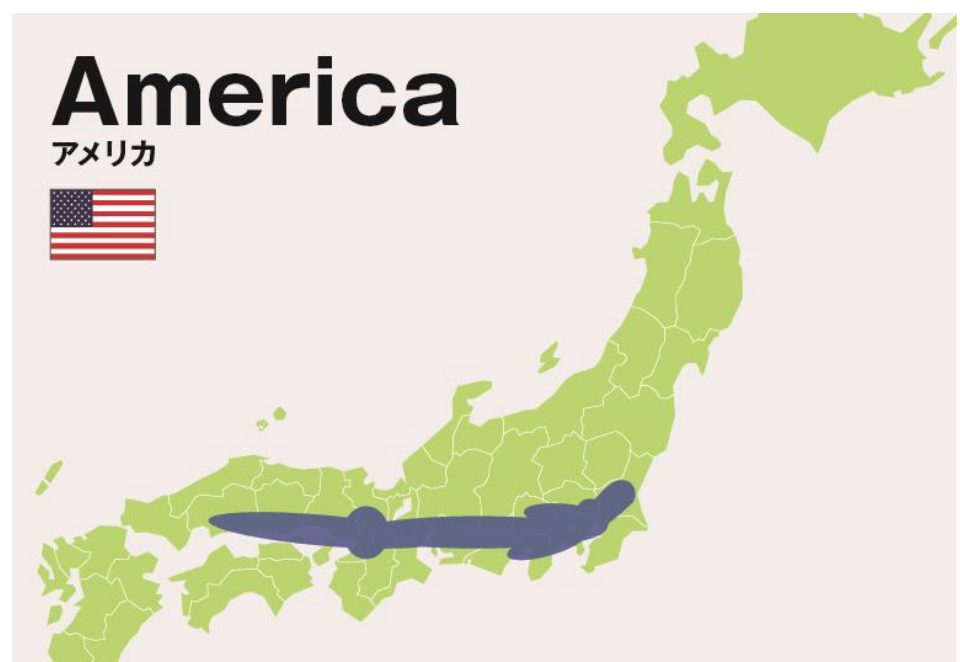
2024年：2024年1月1日（月）～2024年12月31日（火）に対して、
2023年：2023年1月1日（日）～2023年12月31日（日）を比較して分析

対象市場

台湾（N数=63,019）
タイ（N数=108,148）
オーストラリア（N数=54,643）
アメリカ（N数=134,123）

市場別のゴールデンルート・分散状況

市場別の主要周遊ルート20位をマップにした概要図は下記。三大都市圏以外の地方部を含むルートは、台湾は13本、タイは11本、オーストラリアは10本、アメリカは6本となる。2023年対比ではオーストラリアが1本増えているのみで、全国的な地方分散の傾向はほぼ見えなかった。ただし、長野県、静岡県、茨城県が新たに20位にランクインしている。



2024年1～12月の宿泊ログをベースにしたルートの組み合わせをランキング化して上位20までのルートを地図化

市場	2024年新たに ランクインしたルート (地方部は赤に色付け)	2024年		2023年	
		地方部を含む ルート数	対象都道府県 (地方部)	地方部を含む ルート数	対象都道府県 (地方部)
台湾	なし	13	大分県、熊本県、静岡県、滋賀県、 石川県、岐阜県、長野県、山梨県、 長崎県、福岡県、北海道、奈良県 (12)	13	大分県、熊本県、静岡県、滋賀県、 石川県、岐阜県、長野県、山梨県、 長崎県、福岡県、北海道、奈良県 (12)
タイ	千葉県-東京都- 長野県 大阪府-東京都- 静岡県	11	大分県、熊本県、広島県、静岡県、 長野県、山梨県、福岡県、北海道、 奈良県 (9)	11	大分県、熊本県、広島県、山梨県、 福岡県、北海道、奈良県 (7)
オーストラリア	埼玉県-東京都-神奈川県 大阪府-東京都- 長野県	10	長野県、山梨県、広島県、北海道 (4)	9	長野県、山梨県、広島県、北海道 (4)
アメリカ	埼玉県-東京都- 茨城県 東京都-神奈川県- 茨城県 兵庫県-東京都-神奈川県	6	茨城県、静岡県、広島県 (3)	6	茨城県、山梨県、広島県、静岡県 (4)

台湾全国主要周遊ルート20・順位変動ランキング5

全国主要周遊ルートランキングでは、1位「千葉県-東京都-神奈川県」、2位「千葉県-山梨県-東京都」、3位「京都府-兵庫県-大阪府」となり、山梨県以外は三大都市圏のルートとなる。2024年新たにランクインしたルートはない。変動ランキングでは、1位が「東京都-神奈川県-茨城県」となる。

【台湾】全国主要周遊ルートランキング20位

周遊都道府県	出現率	2024年 順位※1	2023年 順位
千葉県-東京都-神奈川県	4.06%	1	1
千葉県-山梨県-東京都	3.53%	2	2
京都府-兵庫県-大阪府	3.25%	3	3
大分県-熊本県-福岡県	1.97%	4	4
千葉県-埼玉県-東京都	1.68%	5	5
山梨県-東京都-神奈川県	1.50%	6	7
京都府-大阪府-東京都	1.47%	7	6
京都府-大阪府-奈良県	1.36%	8	8
千葉県-東京都-長野県	1.23%	9	9
千葉県-大阪府-東京都	1.07%	10	10
埼玉県-東京都-神奈川県	0.99%	11	11
千葉県-東京都-静岡県	0.87%	12	12
京都府-大阪府-滋賀県	0.82%	13	13
東京都-神奈川県-静岡県	0.70%	14	14
千葉県-山梨県-東京都-神奈川県	0.59%	15	15
熊本県-福岡県-長崎県	0.57%	16	18
岐阜県-愛知県-石川県	0.56%	17	16
大阪府-東京都-神奈川県	0.55%	18	17
大分県-熊本県-福岡県-長崎県	0.51%	19	19
北海道-千葉県-東京都	0.51%	20	20

【台湾】全国主要周遊ルート順位変動ランキング5位

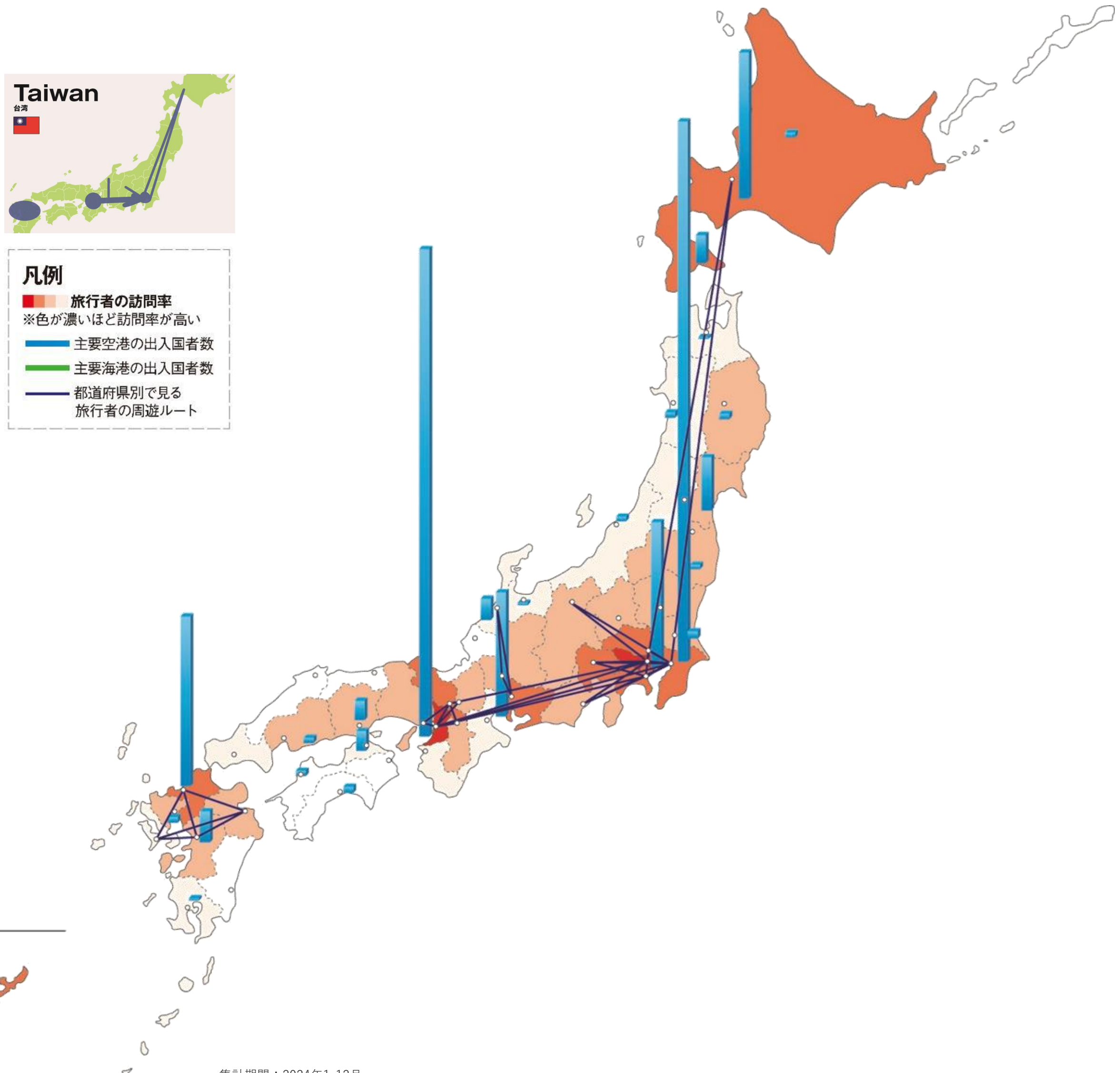
周遊都道府県	出現率	2024年 順位※2	アップ順位
東京都-神奈川県-茨城県	0.23%	53	32
埼玉県-東京都-栃木県	0.17%	77	27
宮城県-山形県-東京都	0.20%	59	20
愛媛県-香川県-高知県	0.24%	50	19
山梨県-東京都-栃木県	0.19%	69	19

※1 ブログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より全体の宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、ルートの順番はランダム表記。順位は小数第3位まで四捨五入をして算出（N数=63,019、周遊ルートパターン数=2,297）。2024年に新しくランクインしたルートの色付け

※2 順位変動ランキングでは、2024年全国主要周遊ルートランキング100位内を対象に変動を順位付け

台湾全国主要周遊ルート詳細マップ

台湾市場に対する全国主要周遊ルートランキング20に加えて、都道府県別の訪問率、主要空港の出入国者数を詳細な地図でビジュアルライズ化。



- 凡例**
- 旅行者の訪問率
※色が濃いほど訪問率が高い
 - 主要空港の出入国者数
 - 主要海港の出入国者数
 - 都道府県別で見る旅行者の周遊ルート

集計期間：2024年1-12月
 出入国者数：出入国在留管理庁「出入国管理統計統計表」より空港ごとの出入国者数を算出し、1万人以上利用者がいる空港をマッピング
 訪問率：プログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より都道府県ごとの訪問率を算出（N数=1,684,313）
 周遊ルート：プログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、都道府県ごとの組み合わせ数3以上で県庁所在地をつないでルート化。順番はランダム表記。順位は小数第3位まで四捨五入をして算出（N数=63,019、周遊ルートパターン数=2,297）

タイ全国主要周遊ルート20・順位変動ランキング5

全国主要周遊ルートランキングでは、1位「京都府-大阪府-東京都」、2位「千葉県-山梨県-東京都」、3位「京都府-兵庫県-大阪府」となり、山梨県以外は三大都市圏のルートとなる。2024年新たにランクインしたのは、「千葉県-東京都-長野県」「大阪府-東京都-静岡県」となる。順位変動ランキングでは、1位が「千葉県-大阪府-東京都-神奈川県」となる。

【タイ】全国主要周遊ルートランキング20位

周遊都道府県	出現率	2024年 順位※1	2023年 順位
京都府-大阪府-東京都	3.71%	1	1
千葉県-山梨県-東京都	1.93%	2	2
京都府-兵庫県-大阪府	1.71%	3	3
千葉県-東京都-神奈川県	1.53%	4	6
千葉県-大阪府-東京都	1.52%	5	5
大阪府-山梨県-東京都	1.42%	6	4
大分県-熊本県-福岡県	1.10%	7	7
埼玉県-東京都-神奈川県	1.00%	8	9
千葉県-埼玉県-東京都	0.85%	9	8
大阪府-東京都-神奈川県	0.68%	10	10
京都府-大阪府-広島県-東京都	0.58%	11	15
京都府-大阪府-奈良県	0.58%	12	11
京都府-大阪府-山梨県-東京都	0.55%	13	13
山梨県-東京都-神奈川県	0.55%	14	12
北海道-大阪府-東京都	0.49%	15	14
京都府-千葉県-大阪府-東京都	0.48%	16	18
千葉県-東京都-長野県	0.47%	17	21
大阪府-東京都-静岡県	0.47%	18	23
大阪府-東京都-福岡県	0.46%	19	16
大阪府-愛知県-東京都	0.46%	20	19

【タイ】全国主要周遊ルート順位変動ランキング5位

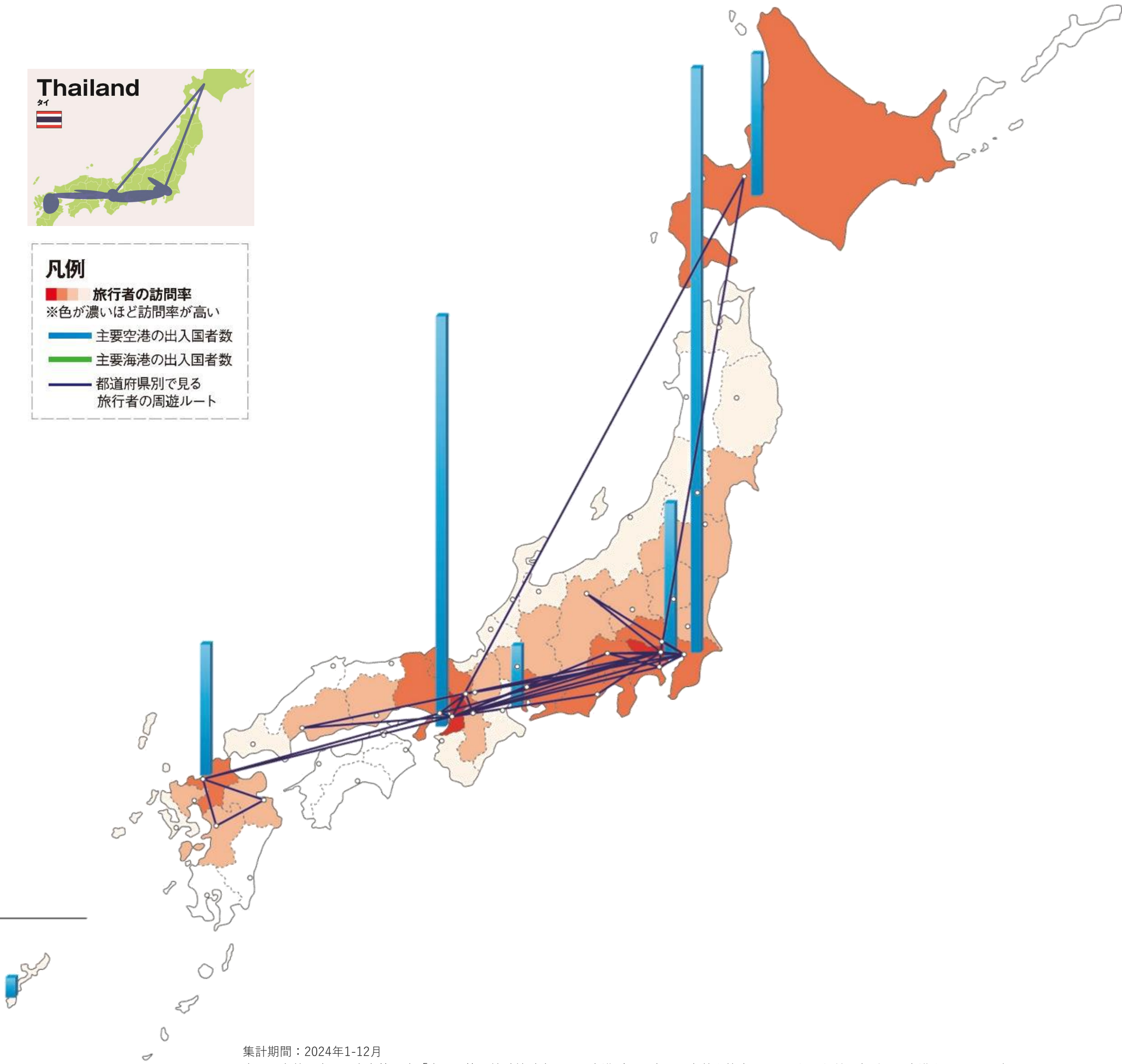
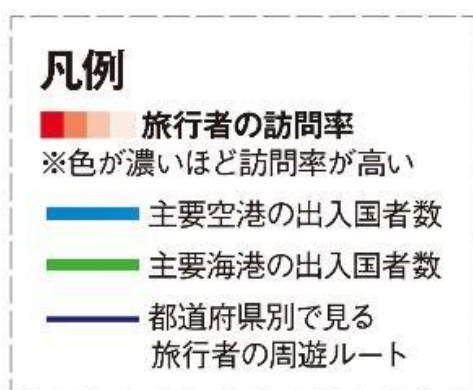
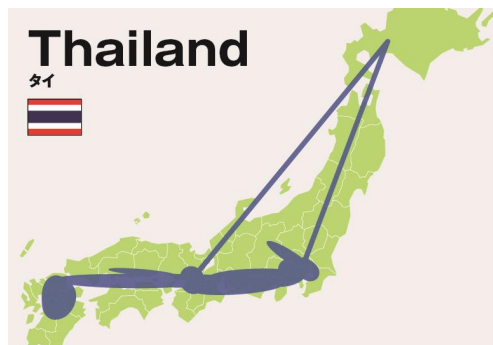
周遊都道府県	出現率	2024年 順位※2	アップ順位
千葉県-大阪府-東京都-神奈川県	0.14%	98	18
京都府-岐阜県-東京都	0.19%	71	15
京都府-岐阜県-東京都-石川県	0.18%	73	15
千葉県-愛知県-東京都	0.15%	94	13
愛知県-東京都-神奈川県	0.20%	64	11

※1 ブログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より全体の宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、ルートの順番はランダム表記。順位は小数第3位まで四捨五入をして算出（N数=108,148、周遊ルートパターン数=3,866）。2024年に新しくランクインしたルートを色付け

※2 順位変動ランキングでは、2024年全国主要周遊ルートランキング100位内を対象に変動を順位付け

タイ全国主要周遊ルート詳細マップ

タイ市場に対する全国主要周遊ルートランキング20に加えて、都道府県別の訪問率、主要空港の出入国者数を詳細な地図でビジュアル化。



集計期間：2024年1-12月

出入国者数：出入国在留管理庁「出入国管理統計統計表」より空港ごとの出入国者数を算出し、1万人以上利用者がいる空港をマッピング

訪問率：ブログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より都道府県ごとの訪問率を算出（N数=2,772,840）

周遊ルート：ブログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、都道府県ごとの組み合わせ数3以上で県庁所在地をつないでルート化。順番はランダム表記。順位は小数第3位まで四捨五入をして算出（N数=108,148、周遊ルートパターン数=3,866）

オーストラリア全国主要周遊ルート20・順位変動ランキング5

全国主要周遊ルートランキングでは、1位「京都府-大阪府-東京都」、2位「京都府-大阪府-広島県-東京都」、3位「京都府-大阪府-東京都-神奈川県」となり、広島県以外は三大都市圏のルートとなる。2024年新たにランクインしたのは、「埼玉県-東京都-神奈川県」「大阪府-東京都-長野県」となる。順位変動ランキングでは、1位が「埼玉県-東京都-栃木県」となる。

【オーストラリア】全国主要周遊ルートランキング20位

周遊都道府県	出現率	2024年 順位※1	2023年 順位
京都府-大阪府-東京都	9.42%	1	1
京都府-大阪府-広島県-東京都	2.32%	2	2
京都府-大阪府-東京都-神奈川県	1.59%	3	3
京都府-千葉県-大阪府-東京都	1.41%	4	4
大阪府-東京都-神奈川県	1.36%	5	6
千葉県-大阪府-東京都	1.22%	6	5
大阪府-広島県-東京都	1.08%	7	7
京都府-広島県-東京都	0.96%	8	9
京都府-大阪府-山梨県-東京都	0.88%	9	10
千葉県-東京都-神奈川県	0.84%	10	12
京都府-東京都-神奈川県	0.83%	11	8
京都府-千葉県-東京都	0.82%	12	11
埼玉県-東京都-神奈川県	0.80%	13	22
千葉県-埼玉県-東京都	0.77%	14	17
京都府-大阪府-東京都-長野県	0.72%	15	15
大阪府-山梨県-東京都	0.69%	16	13
北海道-大阪府-東京都	0.66%	17	14
京都府-大阪府-広島県-東京都-神奈川県	0.62%	18	16
京都府-東京都-長野県	0.62%	19	20
大阪府-東京都-長野県	0.58%	20	21

【オーストラリア】全国主要周遊ルート順位変動ランキング5位

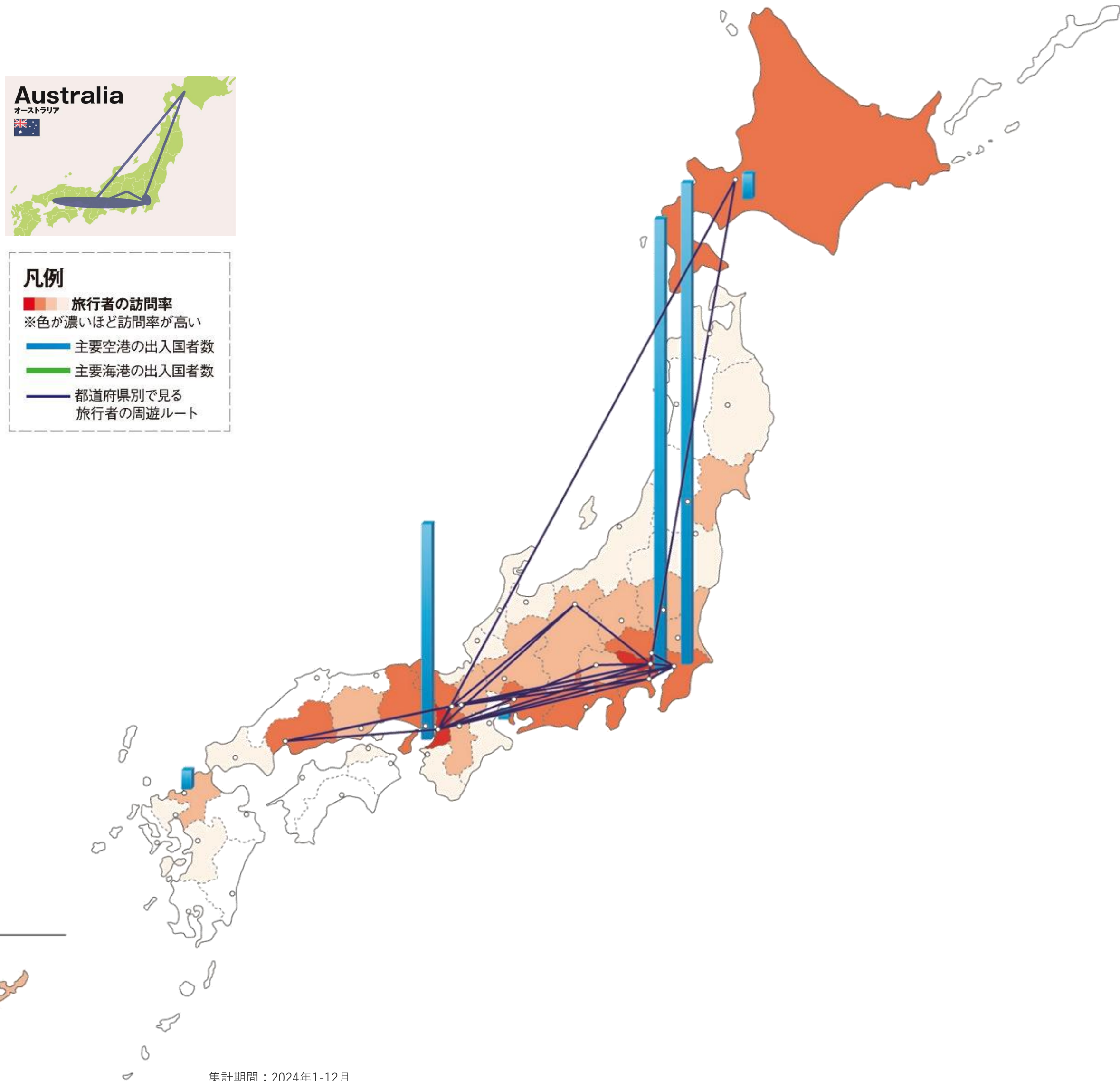
周遊都道府県	出現率	2024年 順位※2	アップ順位
埼玉県-東京都-栃木県	0.14%	86	94
京都府-東京都-静岡県	0.15%	76	79
新潟県-東京都-長野県	0.13%	90	66
東京都-栃木県-神奈川県	0.15%	77	48
東京都-神奈川県-静岡県	0.23%	54	43

※1 プログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より全体の宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、ルートの順番はランダム表記。順位は小数第3位まで四捨五入をして算出（N数=54,643、周遊ルートパターン数=1,874）。2024年に新しくランクインしたルートの色付け

※2 順位変動ランキングでは、2024年全国主要周遊ルートランキング100位内を対象に変動を順位付け

オーストラリア全国主要周遊ルート詳細マップ

オーストラリア市場に対する全国主要周遊ルートランキング20に加えて、都道府県別の訪問率、主要空海港の出入国者数を詳細な地図でビジュアル化。



凡例

- 旅行者の訪問率
※色が濃いほど訪問率が高い
- 主要空港の出入国者数
- 主要海港の出入国者数
- 都道府県別で見る旅行者の周遊ルート

集計期間：2024年1-12月
 出入国者数：出入国在留管理庁「出入国管理統計統計表」より空港ごとの出入国者数を算出し、1万人以上利用者がある空港をマッピング
 訪問率：プログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より都道府県ごとの訪問率を算出（N数=840,062）
 周遊ルート：プログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、都道府県ごとの組み合わせ数3以上で県庁所在地をつないでルート化。順番はランダム表記。順位は小数第3位まで四捨五入をして算出（N数=54,643、周遊ルートパターン数=1,874）

アメリカ全国主要周遊ルート20・順位変動ランキング5

全国主要周遊ルートランキングでは、1位「京都府-大阪府-東京都」、2位「千葉県-東京都-神奈川県」、3位「埼玉県-東京都-神奈川県」となり、三大都市圏のルートとなる。2024年新たにランクインしたのは、「埼玉県-東京都-茨城県」「東京都-神奈川県-茨城県」「兵庫県-東京都-神奈川県」となる。順位変動ランキングでは、1位が「三重県-兵庫県-大阪府」となる。

【アメリカ】全国主要周遊ルートランキング20位

周遊都道府県	出現率	2024年 順位※1	2023年 順位
京都府-大阪府-東京都	4.80%	1	1
千葉県-東京都-神奈川県	3.08%	2	2
埼玉県-東京都-神奈川県	2.97%	3	3
千葉県-埼玉県-東京都	2.46%	4	4
京都府-東京都-神奈川県	1.62%	5	5
大阪府-東京都-神奈川県	1.33%	6	7
京都府-大阪府-東京都-神奈川県	1.13%	7	6
千葉県-大阪府-東京都	1.12%	8	9
京都府-千葉県-東京都	1.03%	9	8
京都府-千葉県-大阪府-東京都	0.88%	10	10
京都府-兵庫県-大阪府	0.76%	11	14
兵庫県-大阪府-東京都	0.65%	12	13
京都府-広島県-東京都	0.63%	13	11
京都府-大阪府-広島県-東京都	0.62%	14	12
東京都-神奈川県-静岡県	0.58%	15	20
千葉県-東京都-茨城県	0.53%	16	19
愛知県-東京都-神奈川県	0.52%	17	18
埼玉県-東京都-茨城県	0.48%	18	32
東京都-神奈川県-茨城県	0.48%	19	21
兵庫県-東京都-神奈川県	0.47%	20	29

【アメリカ】全国主要周遊ルート順位変動ランキング5位

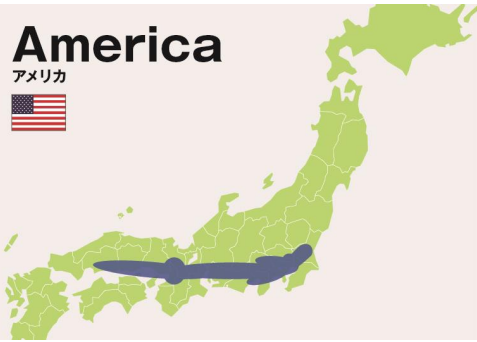
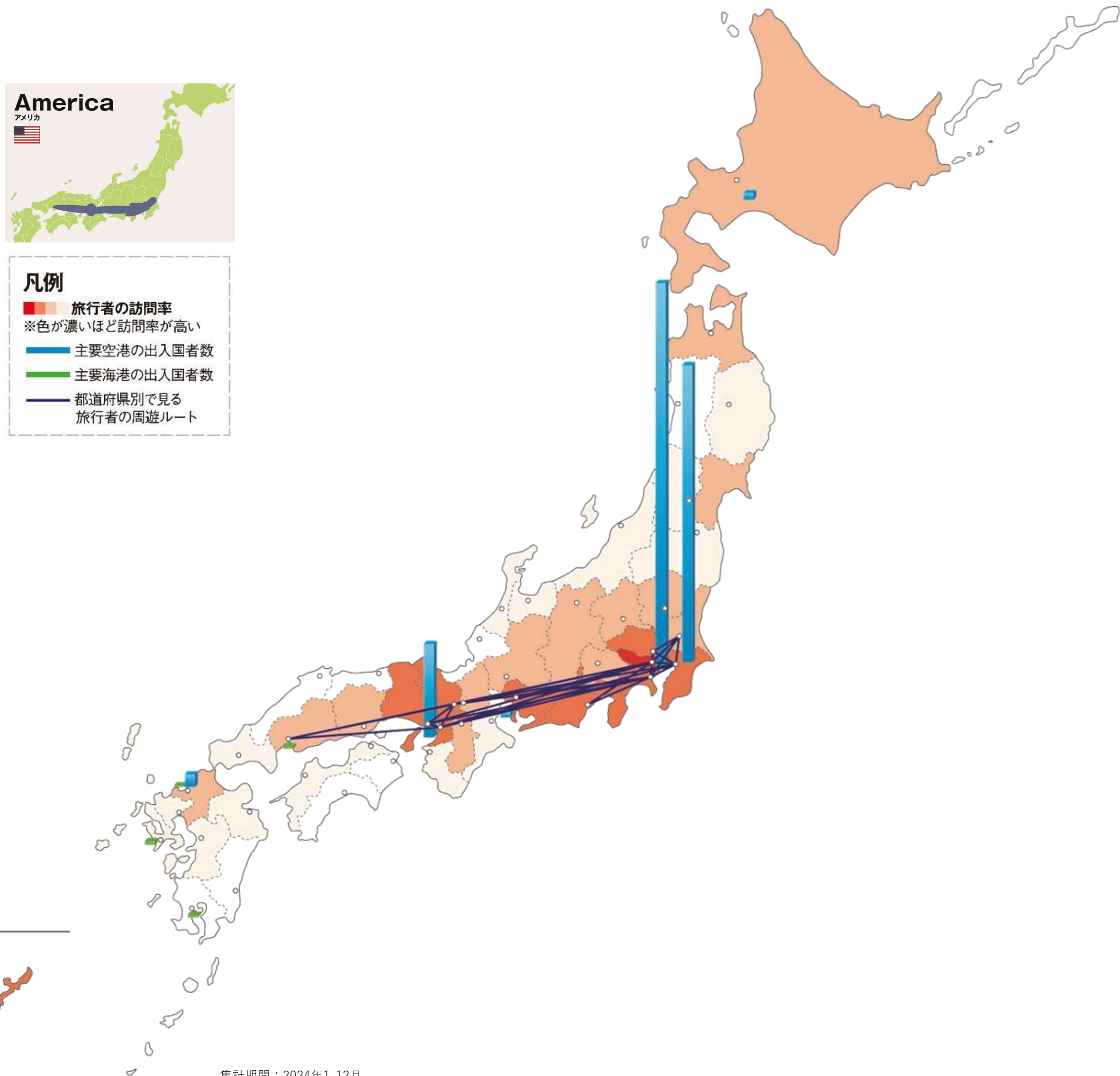
周遊都道府県	出現率	2024年 順位※2	アップ順位
三重県-兵庫県-大阪府	0.14%	77	159
兵庫県-和歌山県-大阪府	0.12%	95	119
千葉県-新潟県-東京都	0.13%	89	79
兵庫県-大阪府-岐阜県	0.12%	91	66
兵庫県-大阪府-広島県	0.15%	74	48

※1 ブログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より全体の宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、ルートの順番はランダム表記。順位は小数第3位まで四捨五入をして算出（N数=134,123、周遊ルートパターン数=4,089）。2024年に新しくランクインしたルートの色付け

※2 順位変動ランキングでは、2024年全国主要周遊ルートランキング100位内を対象に変動を順位付け

アメリカ全国主要周遊ルート詳細マップ

アメリカ市場に対する全国主要周遊ルートランキング20に加えて、都道府県別の訪問率、主要空海港の出入国者数を詳細な地図でビジュアルライズ化。



凡例

- 旅行者の訪問率
※色が濃いほど訪問率が高い
- 主要空港の出入国者数
- 主要海港の出入国者数
- 都道府県別で見る旅行者の周遊ルート

集計期間：2024年1-12月
 出入国者数：出入国在留管理庁「出入国管理統計統計表」より空港ごとの出入国者数を算出し、1万人以上利用者がいる空港をマッピング
 訪問率：プログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より都道府県ごとの訪問率を算出（N数=3,188,259）
 周遊ルート：プログウォッチャー「デジタル観光統計（訪日版）」より宿泊ログをベースに、日本旅程日数3日以上20日以内、都道府県ごとの組み合わせ数3以上で県庁所在地をつないでルート化。順番はランダム表記。順位は小数第3位まで四捨五入をして算出（N数=134,123、周遊ルートパターン数=4,089）